

ボツワナ

主要データ

国名〔英名〕	ボツワナ共和国〔Republic of Botswana〕
面積(km ²)	581,730
海岸線延長(km)	0
人口(百万人)	2.2
人口密度(人/km ²)	3.7
GDP(百万 US\$)	14.84
一人当り GDP(US\$)	7,135.92
主要鉱産物：鉱石	銅、ニッケル
主要鉱産物：地金	銅、ニッケル
鉱業管轄官庁	鉱物・エネルギー・水資源省(Ministry of Minerals, Energy and Water Affairs)
鉱業関連政府機関	地質調査所(Department of Geological Survey)
鉱業法	Mines and Minerals Act(1999)
ロイヤルティ	貴石 10%、貴金属 5%、その他鉱物：3%(売上高に対して賦課)
外資法	Foreign Investment Code(2001)
環境規制法（環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等）	環境影響評価法(Environmental Impact Assessment Act(2005))
鉱業公社	Bamangwato Concessions Ltd (BCL)
鉱業活動中の民間企業	Norilsk Nickel、Messina Copper、Discovery Metals 等
近年の鉱業関連問題（資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等）	特になし
2013年のトピックス	Norilsk Nickel は Tati ニッケル鉱山を BCL 社に売却検討中。

1. 鉱業一般概況

ボツワナの鉱業は、輸出収入の 8 割（2013 年）を占めるダイヤモンド生産に集中している。銅、ニッケル等についても生産規模は小さいものの徐々に生産を拡大しており、その他コバルト、白金族、石炭、ソーダ灰、塩類、金及び銀が生産されている。世銀の Doing Business Report 2014 によれば、ボツワナのビジネス環境は世界 189 か国中 56 位に位置し、また、Fraser Report 2013 では鉱業投資環境の優れた国として 112 か国中 24 位にランキングされ、ボツワナの投資環境は世界的に高い評価を受けている。また近年では、2,000 億 t 以上の石炭資源があると推定され、政府はエネルギー需要の高まりから外国投資を積極的に呼びかけている。

また鉱業への依存体制を脱し国内産業の多角化を図るため、政府は製造業、金融業、観光業の振興策を推進しており、鉱業セクターが GDP に占める割合は 2006 年には 46%であったが、近年は 3 分の 1 にまで低下している。現在、2016 年までの持続的な経済成長を目的とした第 10 次国家開発計画が進められており、この中には鉱業における高付加価値化や下流部門の強化なども含まれている。

同国北部のカラハリ・カッパーベルトでは、Boseto 銅・銀鉱山及び Mowana 銅鉱山が操業を行っている他、Ghanzi 銅プロジェクトが現在 FS 調査を実施している。

2. 鉱業政策の主な動き

鉱業に関わる主な税は表 2-1 のとおり。なお鉱業法(Mines and Minerals Act 1999)では、ボツワナ政府がプロジェクト会社の株式を最大 15%まで購入できる規定があるが(ダイヤモンドの権益比率については政府との交渉による)、実際に本規定が発動されるかどうかはプロジェクトによって異なる。なお、高付加価値化政策により、製錬事業及びその他製造業関連事業に関しては、法人税は低減され 0%から 15%の範囲で交渉される。

表 2-1. 鉱業法(Mines and Minerals Act 1999)の税制概要

種類	内容
ロイヤルティ	貴石：10%、貴金属 5%、他の鉱物：3% (売上価格に対して賦課)
変動的法人税率(VITR: Variable Tax Rate)	計算式により、25%~55%間で変動
資本控除	資本支出の 100%が減価償却可能
損失の繰越	繰越可能
配当の源泉課税	配当の 15%
輸入関税	鉱業で用いられる資機材は関税免除
付加価値税	原則 10% (鉱産物の輸出を含む)。再輸入から 6 ヶ月以内であれば付加価値税(VAT)の払い戻しが可能。
金属加工業(切削、研磨、製錬)への課税	税率 15% (基本税率 5%と追加税率 10%)

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2011 年 (千 t)	2012 年 (千 t)	2013 年 (千 t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
ニッケル	15.7	17.6	19.6	11.7	0.8	13

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2014)

(2) 主要金属地金生産量

データなし

(3) 主要金属消費量

データなし

(4) 主要金属輸出量

データなし

(5) 主要金属輸入量

データなし

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量	備考
Selebi-Phikwe 鉱山	Bamangwato Concessions Ltd (100)	ニッケル、銅、コバルト	-	
Tati (Phoenix) Nickel 鉱山	MMC Norilsk Nickel (85)、ボツワナ政府(15)	ニッケル(千 t) 銅(千 t) パラジウム(千 oz) プラチナ(千 oz)	6.4 5.4 43 7	2013 年生産量
Mowana 鉱山	African Copper Plc (100)	銅(千 t)	9.4	2013 年生産量
Boseto 鉱山	Discovery Metals Ltd (100)	銅(千 t) 銀(千 oz)	18.7 62.8	2013 年生産量 フル生産:銅 36 千 t/年、銀 34t/年
Thakadu/Makala 鉱山	African Copper Plc (100)	銅、金、銀	-	

(出典：各社 HP 等)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量	備考
Selebi-Phikwe 製錬所	Bamangwato Concessions Ltd. (100)	ニッケル(千 t) 銅(千 t)	- -	

(出典：各社 HP 等)



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	所有企業(権益比率：%)
Ghanzi	銅、銀	Cupric Canyon Capital LLC (70), Stellant(Pty) Ltd (30)
Dibete	銅、銀	Bamangwato (70), Botswana Metals Ltd(30)
GMR	銅	Medical Corp Australasia Ltd(100)
Ophion	銅、銀	Discovery Metals Ltd (100)
Botswana	銅、銀、ニッケル、コバルト	MOD Resources Ltd(100)
Gcwihaba	銅、亜鉛、銀	First Quantum Minerals Ltd(70), Tsodilo Resources Ltd(30)
Kihabe-Nxuu	亜鉛、鉛、銀、銅、パラジウム	Mount Burgess Mining NL(100)
Selkirk	ニッケル、銅、コバルト、プラチナ	MMC Norilsk Nickel (85) ボツワナ政府(15)
Tuli	ニッケル、銅	African Nickel Holdings Ltd(100)
Magogaphate	ニッケル、銅、コバルト、銀	Botswana Metals Ltd(30) , Bamangwato Concessions (70)
Molopo Farms	プラチナ、パラジウム、銅、ニッケル	African Platinum Plc(100)
Dikoloti	ニッケル、銅、コバルト、プラチナ、パラジウム	BCLMining(51), JOGMEC(35.3), Discovery Metals Ltd(13.70)
Xade JV	ニッケル、銅、プラチナ、パラジウム	Impact Minerals Ltd(51), Manica Minerals Ltd(49)
Lekobolo	ウラン、ランタン	Impact Minerals Ltd(100)
Letlhakane	ウラン	A-Cap Resources Ltd(100)
Sese Uranium	ウラン	African Energy Resources (Guernsey) Ltd(100)
Xaudum	鉄鉱石	Tsodilo Resources Ltd(100)

(出典：各社 HP 等)

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

データなし

(2) 日本企業による投資状況等

JOGMECは、2008年7月、同国に地質リモートセンシングセンターを開設し（所在地はハバロネ市）、SADC諸国を対象にリモートセンシングを活用した鉱物資源探査事業及び同国の資源探査技術者への技術研修を実施している。

7. その他トピックス

Norilsk Nickel は 2013 年 7 月以降、ニッケル価格低迷を受け採算が悪化しているとして Tati ニッケル鉱山の操業停止を含めた事業見直し又は同鉱山の売却を検討しているとされていたが、2014 年 10 月に入り、Tati ニッケル鉱山を BCL 社に売却すると報じられた。売却額は他の南ア鉱山を含め 3 億～3 億 5,000 万 US\$ となる見込みで、Norilsk Nickel の海外資産売却額としては過去最高額となる。なお、同社は 2013 年 7 月に、2016 年までに海外事業及び非中核事業から完全撤退すると発表していた。

(2014. 10. 10 ロンドン事務所 竹下聡美)